

## 18 受験者心得

### (1) 試験日程

〔一般選抜（前期日程）〕 2026年2月25日（水）

| 事 項     | 時 限 | 第 2 時 限        |                                | 第3時限                | 実 技 検 査 |
|---------|-----|----------------|--------------------------------|---------------------|---------|
|         | 教科等 | 外 国 語<br>小 論 文 | 理 科<br>(1科目)<br>ペーパーイン<br>タビュー | 国 語<br>理 科<br>(2科目) | 数 学     |
| 受験者入室終了 |     | 8 : 45         | 12 : 15                        | 12 : 15             | 15 : 45 |
| 試 験 開 始 |     | 9 : 00         | 12 : 30                        | 12 : 30             | 16 : 00 |
| 試 験 終 了 |     | 11 : 00        | 13 : 30                        | 14 : 30             | 18 : 00 |

29ページ及び2月24日(火)に教育学部講義棟玄関前に掲示される連絡事項により確認してください。

〔一般選抜（前期日程）〕 2026年2月26日（木）

医学部、歯学部及び薬学部薬学科の面接は、別途指示します。

### (2) 受験教科（科目）

- ① 定められたすべての教科（科目）を受験しなければなりません。一部の教科（科目）でも受験しなかった方は受験を放棄したものとみなされ、失格となります。
- ② 教育学部、経済学部、医学部保健学科検査技術科学専攻の一般選抜（前期日程）を受験する方が、出願時に志願票の「選択届出教科・科目」欄により届け出た以外の教科・科目を受験した場合は、失格となります。
- ③ 理科(受験科目を選択して受験する場合)の受験科目は、試験室で選択してください。

### (3) 試験場

受験票のダウンロード通知メールを送信する際に、受験する試験場名を通知するので、38～40ページ記載の(3)試験場案内の「①キャンパス案内図」、「②津島キャンパス試験場配置図」及び「③鹿田キャンパス試験場配置図」により確認してください。※第8試験場は、一般教育棟に新たに設置しています。

### (4) 試験室

- ① 2026年2月24日(火)の10時頃から試験当日まで、配置図を試験場玄関に掲示しますので、各自が受験する試験室及び試験場本部を確かめておいてください。ただし、原則として、試験場の建物内に入ってはけません。
- ② 教育学部一般選抜（前期日程）の実技検査(音楽実技Ⅰ・音楽実技Ⅱ, 美術実技Ⅰ・美術実技Ⅱ, 体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ)を受験する方は、教育学部講義棟玄関前の掲示により詳細を確認してください。

### (5) 集合時刻

各自の受験する各教科等の試験開始30分前までに、割り当てられた試験場に集合してください。  
 なお、この時刻までに掲示をよく読み、用便等も済ませておいてください。  
 また、試験当日は交通渋滞によるバス等の遅延が予想されますので、早めに試験場に着くようにしてください。

## (6) 試験室への入室

各自の受験する各教科の試験開始20分前までには試験室に入室し、入室後は、直ちに自分の受験番号の表示してある席に着席し、監督者の指示を待ってください。

なお、指示があるまでは絶対に問題及び解答用紙冊子に触れてはいけません。

また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）などの電子機器類は、試験室に入る前に電源を切ってかばんの中にしまっておいてください。

## (7) 遅刻者

遅刻時間が試験開始後30分を超えたときは、入室を許可しません。30分以内のときは、試験場入口の受付又は試験室の監督者に申し出て、その指示に従ってください。

## (8) 携行品

① 岡山大学受験票、筆記用具(鉛筆、ボールペン又はシャープペンシル)を持参してください。このほか、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。)、鉛筆キャップ、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く。)、定規、三角定規、コンパス、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの。)は机の上に置くことができます。

なお、下敷の持ち込み、計算機の使用は許可しません。また、試験時間中は「電動式鉛筆削り」及び「時計のアラーム」は使用してはいけません。

また、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋(多汗症用を含む。)の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

② 前記①以外の携行品は、カバン等にまとめて座席の下に置いてください。

③ 教育学部の実技検査(音楽実技Ⅰ・音楽実技Ⅱ、美術実技Ⅰ・美術実技Ⅱ、体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱ)を受験する方は、上記の携行品のほか次のものを用意してください。〔29ページ記載の「実技検査の内容」の各(注)も参照してください。〕

ア 音楽実技Ⅰ・音楽実技Ⅱを受験する方のうち、管弦打楽器で受験する方は、各自、管弦打楽器を持参してください。

イ 美術実技Ⅰ・美術実技Ⅱを受験する方は、鉛筆デッサンに必要な鉛筆、消しゴム、絵画又は構成に合った水性絵の具など、それに必要な用具を持参してください。

ウ 体育実技Ⅰ・体育実技Ⅱを受験する方は、必要に応じて、各自、運動用ウェア、体育館用シューズ等を持参してください。

## (9) 受験票

① 試験場の建物に入るときは、岡山大学受験票を提示できるよう、あらかじめ準備しておいてください。

② 岡山大学受験票は、着席後、机の上の受験番号票の手前に置いてください。

## (10) 不正行為について

① 不正行為をしたとき若しくはしようとしたとき、又は監督者の指示に従わないときは、その入学者選抜については失格とするとともに、警察に被害届を提出する場合があります。次のことをすると不正行為となります。

ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(受験票・写真票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。)をすること。

イ カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子・下書冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に、机上に置けるもの以外のものを使用すること。

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）

ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

コ 試験時間中に、指定した受験番号以外の席に座ること、指定した受験番号の席に他の者を座らせること。

サ 試験時間中に試験室外と連絡を取ること。

シ その他、本学にて不正行為と判断したこと。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と判断された場合の扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、机上に置けるもの以外のものや携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信音・アラーム・振動音等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## (11) 試験当日の不測の事態について

試験実施当日の試験場周辺や試験場内において、受験者等が万が一、不審者や不審物を発見した場合は、学務部入試課、又は試験場の教職員に連絡ください。

岡山大学学務部入試課 【電話 (086) 251-7192～7194】

## (12) その他の注意

① 問題冊子、下書き用紙は必ず持ち帰ってください。

② 試験室に入室してから試験終了まで退室は認めません。ただし、試験中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。なお、面接の場合は、試験場係員の指示に従ってください。

③ 試験中、用便などで席を立ちたいときは、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

④ 岡山大学受験票を紛失した方又は忘れた方は、試験当日、試験場本部に届け出て「仮受験票」の交付を受けてください。

⑤ 試験場の建物内では、静粛にしてください。また、敷地内での喫煙は禁止します。

⑥ 試験期間中、受験者及び付添者の自動車の構内乗入及び駐車は禁止します。

なお、バイクは構内入口でエンジンを停止し、押して、指定された場所に駐車してください。

⑦ 試験当日は昼食を持参し、試験室の自席で昼食を取ってください。

### 麻しん（はしか）・インフルエンザ等に注意

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、発熱、咳、鼻水といった風邪症状の後に発しんと高熱が現れ、脳炎などを併発して重症化することもあります。非常に感染力が強く、予防には生後1歳以降に2回のワクチン接種が必要です。まだの場合は医療機関に相談の上、必要な回数のワクチン接種を受けてください。

インフルエンザも感染力が非常に強く、ワクチン接種は予防手段の一つです。

その他、風しん、水痘（水ぼうそう）、流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふく風邪）もワクチン接種で予防可能な感染症であり、麻しんと同様に2回の接種が必要です。特に、入学後に病院等での実習が予定されている医・歯学部、薬学部薬学科、教育学部養護教諭養成課程を受験される方は、あらかじめ予防接種を受けて記録を保存しておいてください。

医療関係者一般に必要とされているワクチン（特に、麻しん・風しん・水痘・流行性耳下腺炎）に関しては、医師により接種を控えるよう指示されている場合を除いて、積極的に接種してください。

以上のワクチン接種を終えられた方には、加えて髄膜炎菌ワクチンの接種をお勧めします。また、海外留学を考えられている方には、髄膜炎菌ワクチンに加えて、百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（DPT）の接種もお勧めします。特に、寮や合宿など集団生活、コンタクトスポーツを予定されている方にはお勧めです。（※これらワクチン接種は全て自費となります。）

岡山大学を受験するに当たっては、手洗い・消毒にマスク着用の励行などの基本的な感染症対策に留意してください。

### 詐欺まがいの行為に注意

例年、岡山大学試験場及び岡山駅周辺において本学職員を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

試験当日、本学職員が以上の行為をすることは一切ありません。

不審者を見たり、声をかけられたりしたら、本学職員（『岡山大学』の腕章着用）まで連絡してください。